

No.23-36
2023年9月29日

サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク策定および サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、地球環境への配慮を最重要経営課題の一つとして位置づけ、様々な取り組みを進めています。

当社は、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定するとともに、本フレームワークに基づく「サステナビリティ・リンク・ローン（以下「S L L」）」の融資契約を三井住友信託銀行株式会社と締結いたしました。

S L Lは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター（以下「K P I」）」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「S P T」）」を設定し、貸付条件とS P Tに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、S P T達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

当社は、2023年9月29日付で本フレームワークを策定し、同日付で株式会社日本格付研究所（代表取締役社長 高木祥吉）より、サステナビリティ・リンク・ローンおよびボンドに関する諸原則等への適合性および設定したK P IとS P Tの整合性について第三者意見（※1）を取得しています。

<当社のサステナビリティに関する考え方及び取り組み>




当社グループは、グループ経営理念「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」を実現するために、多種多量の穀物を扱う「穀物ソリューション・カンパニー」として食の源である穀物を生み出す大地とその環境を守り、穀物を余すことなく最大限に有効活用していくことが社会的使命であり、責任であると考えています。

また、当社は「全てのステークホルダーに満足を提供する“穀物ソリューション・カンパニーNext Stage”」を長期ビジョンとしており、2023年度から2025年度までの中期経営計画において、「環境負荷の低減」を基本戦略の一つとして掲げています。

今後も、当社グループは安全・安心な「食」を安定的に供給するという社会的使命を果たしながら、持続的な企業価値向上を目指します。

<K P IおよびS P Tの概要>

本件は、以下のK P IとS P Tを設定しています。

K P I	S P T	S D G s
昭和産業グループ のCO2排出量 (S c o p e 1・2)	昭和産業グループのCO2排出量 (S c o p e 1・2)を2026年度までに 2020年度比28.1%以上削減(※2)	  

(※1) サステナビリティ・リンク・ローンおよびボンドに関する諸原則等への適合性および設定したK P I
とS P Tの整合性についての第三者意見
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

(※2) 2026 年度目標は、長期ビジョンの 2030 年度目標に基づいて算出しています。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室
TEL : 03-3257-2042 担当 : 赤松・塩谷